

地震発生！学校は大丈夫です

午後 11 時 8 分、突然の揺れと停電（黒岩弥生地区）。一気に 10 年前に引き戻された・・そんな気がしました。気を取り直して家族の安全を確認し、学校に車を走らせました。ガソリンスタンドには、深夜にもかかわらずすでに列ができていました。また、平和通りは県庁に急ぐ職員の車やタクシーでいっぱい、深夜とは思えない混雑状況でした。

学校では、警備のランプが点灯していました。すでに到着した教頭先生が、校舎内を確認していました。警備ランプの発報は、地震で扉がずれたことによるセンサーの反応ということで、

大きな問題ではなく、夜間であり安全を第一に考え職員の招集は翌日にすることにしました。

翌 14 日は、先生方の電話による確認の結果、子どもたちにけがもなく無事だったとの報告をいただき、まずはホッといたしました。

そして、報告の中で防災学習を生かして、率先して手伝いや活動をしている子どもたちがいることが分かってきました。このような状況の中で、子どもたちのよさを知らせてくださったことに感謝するとともに、がんばる子どもたちの姿を想像して、とても誇らしくうれしい気持ちになりました。さすが梅校 kids！！

学校は、窓ガラスの破損もなく、棚の書類や図書、理科実験器具等が落下したくらいで、日曜日の職員作業によって授業ができるよう、あっという間に復旧することができました。ご心配をおかけいたしました。PTA 会長さんに学校の状況をお伝えしたところ、午前中の内に自転車で学区内を回ってくださり、通学路の安全を確認し状況を報告してくださいました。何か所か、塀の崩れなどがありましたが、気をつけて通れば大丈夫と言うことでした。ご自宅の状況も大変な中ご協力いただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

15 日、子どもたちは元気に登校し、授業も通常通り行うことができました。「ドキドキしたー」「皿が割れたー」など思い思いに語ることで、耳を傾けてもらえることで、トラウマチックなストレスが薄まると言われています。無理に語らせることはありませんが、子どもたちの話をよく聞いてあげようと思います。片付け等大変な中、学校に子どもたちを送りだしていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



壊れなかった楯やトロフィー



職員室の様子



校長室の様子



授業に集中する 15 日の 5 年生の様子